

## 3月定例会

3月定例会では、平成18年度各会計補正予算案、平成19年度各会計予算案・条例案等、合計43件の議案等の審議を行いました。採決の結果、いずれも原案可決されました。

また、市長から平成19年度の施政方針が述べられました。本会議では、通告に従い、2日から4日目にかけて、代表質問（3会派）、議案質疑（4名）、一般質問（7名）が行われました。その主な内容は、次のとおりです。

### 代表質問

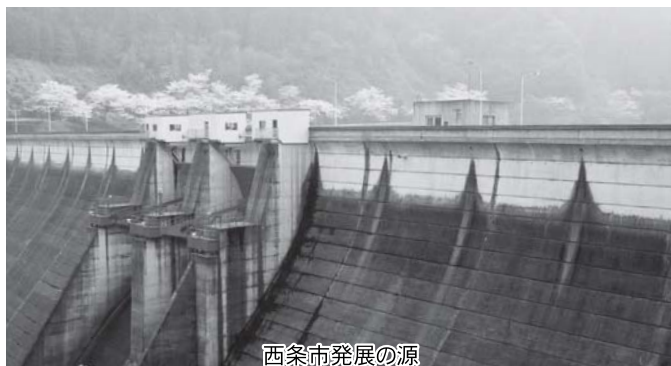
#### 自民クラブ

どう考えるのか？

工業用水の分水！

**問1** 地域振興や東予新産業都市の発展あるいは農業振興等、元気な地域経済の発展に黒瀬ダムはどのように貢献してきたのか。

**答** 県営西条工業用水は、西条市の工業都市化の進展に大きく貢献をしており、数多くの企業進出決定の重要な要因となった結果が、今日の四国屈指の工業集積に現れている。



西条市発展の源

今後のまちづくりは、工業用水の有効活用による産業振興を図ることが重要な課題であり、黒瀬ダムの存在はこの地域の発展のためには必要不可欠である。また、農業においても、県内一の穀倉地帯であり、かんがい期の水の安定的な供給に極めて重要な役割を担っている。

このようなことから、地下水資源調査を2か年で実施しようとしている。この圏域内の現状では、地下水の安定的な供給が確保されているわけであるから現状を維持すべきと考える。

**問2** 分水問題については、西条市・新居浜市・松山市の3市間で意見交換の場を持つこと

との調整が進んでいるが、今後どのように協議を進めていくのか。また、水利権者・漁業権者・NPO・各種団体をはじめ、市民の意向をどのように集約・調整し、これら「西条パワー」をどのように反映させていくのか。

### 答

分水問題は、愛媛県が貯留権を持つ黒瀬ダムの水をどのように分水するかが一つのテーマであることから、松山市が新居浜市にも参画を呼びかけている。かつて新居浜市との間で水紛争が生じた歴史を持つが、水の問題については、水の歴史からひも解く必要がある。

水利権者あるいは漁業権者・NPO・各種団体等の意見集約については、これまでさまざまな形で提言をいただいているが、今後の取り組みの中では、本当に切実な市民の思いを主張していくことが大変重要なことになってくるものと考えている。

まず、「水を守る」、この姿勢にはいささかもゆるぎない思いで臨んでいきたい。

議会とともに取り組む覚悟！

周桑病院の医師確保！

### 問

高度で良質な医療の安定供給は、永遠に求められることから、地域医療の拠点病院として周桑病院は不可欠なものである。議会としても、経営改善対策を喫緊の重要課題として、行政部局と

ともに、地域医療の継続のために可能な限り努力したい。

今回、病院経営改善対策事業を実施し、医師確保や財政の健全化対策を講じるものとしているが、医師確保についての考えを問う。

### 答

周桑病院では、国が行った医療費の抑制策により厳しさが増しており、極めて深刻な医師不足に直面している。このような中、診療機能の縮小が避けられないが、地域住民の健康と医療を守るという使命に対し、今まで以上の努力を払わなければならない。現在、最も悩ましい課題は、救急患者の受け入れであるが、市内の医師会や他の救急病院の協力を得ながら可能な限りの対応を図っていききたい。

医師不足については、国や関係機関に対し、法定医師数の緩和・地元大学医学部への入学定員の増員・地元枠の設定・女性医師の倍増・臨床医が地方の病院にも集まりやすいしくみの構築等を、粘り強く求めていきたい。

今後、周桑病院が地域の拠点病院として存続し、活性化することを常に最優先課題として位置付けている。大学への派遣要請や、平成18年6月から実施しているインターネットによる全国公募、地域出身の医師の個別情報による勧誘活動等々、地域連携の働きかけなどを当面の課題としている。

#### リベラル西条

平成18年度事業を

どう評価するのか？

### 問

平成18年度は合併後2年目、新市としての基盤づくりの年度であり、「市民力」をキャッチフレーズに、「人づくり」「しくみづくり」によるさまざまな事業が展開されたが、これらをどのように評価しているのか。

### 答

地域の能力を存分に発揮するため、「人づくり」「しくみづくり」をテーマとした各種事業を展開しており、特に産業振興をまちづくり戦略の基本テーマと位置付けている。市の産業振興施策の実働部門である産業情報支援センターの働きかけにより、日本初のLLP（有限責任事業組合）「トライアウトエヒメ」が水素吸蔵合金を利用した省エネルギー型冷凍機の開発に取り組んでおり、これは地場の中小企業に画期的な新製品を開発しようとする意欲を持つ人が育っているあかしである。また、当市と四国経済産業局等が主体に、タイ国への販路開拓等を目指した調査研究事業も実施しており、ここでも海外に雄飛しようとする素晴らしい企業家精神が育っているものと考えている。さらに、食品加工流通コンビナート構想は、四国地域内外の産学官の各機関や人材を結ぶ新たな仕組みを生み出している。